



## アートをきっかけに地域は変わる ～アートディレクター 北川フラム氏講演会

■アートディレクターで国内外の美術展、企画展、芸術祭などをプロデュースする北川フラムさんによる講演会が11月27日、南浜館で行われ、約100人が参加しました。

『地域づくりとアート』という演題で、自身の手掛けたアートプロジェクトを例に「地域づくりにおいてアートはきっかけにすぎず、主人公はそこに住む人であり、来た人はその地域の伝統や習慣、人情にふれたがっている。都会の人は地域に興味がある。アートをきっかけに地域は変わる」とアートの可能性を訴えました。

『風の芸術展』を開催し芸術のまちをうたっている本市にとってヒントとなることが多く、参加者は熱心に聞き入っていました。



## KYTを学んで 安全に創作活動

～南薩地区子ども会安全教育研修会・創作活動大会

■南薩地区子ども会安全教育研修会・創作活動大会が12月10日、枕崎小学校体育館で行われ、地区内から主に小・中学生と保護者あわせて約160人が参加しました。

前半の安全教育研修では、10班にわかれ、配布されたKYT（危険予知トレーニング）シートについて、みんなで危険な箇所を考えてチェックし、グループごとにスローガンを掲げ、最後に発表しました。

後半は、KYTを生かしながら、実際に創作活動を行いました。南薩少年自然の家の職員を講師に、ペンカッターの使い方に気をつけながら約70分をかけて思い思いのコルクコースター作りに挑戦しました。それぞれ満足いく作品ができあがっていたようです。

## ウォーキングで枕崎の秋感じる ～さわやかウォーキング

■さわやかウォーキングが11月26日に行われ、約140人が参加し、枕崎空港から片平山公園までの健脚向けコース（約7.5km）と片平山公園をスタート・ゴールに桜山地区を回るゆったりコース（約4km）にわかれ、それぞれのペースでウォーキングを楽しみました。

このほか、スタート前にはNPO法人LCLによる正しいウォーキングフォームやストレッチの紹介、ゴールで豪華賞品の当たる抽選会など盛りだくさんの内容に、参加者は充実した一日を過ごしました。

参加した岩廣真美さんは「4kmコースを歩きました。思ったより長く感じたけど景色もよく空気もおいしかった」と話していました。



## 市民の健康を考え活発な意見交換 ～第1回枕崎市医療懇談会

■第1回枕崎市医療懇談会が11月22日、枕崎市医師会館で開催され、枕崎市医師会（牧角寛郎会長）や行政などから44人が出席し、「脳卒中をはじめとした生活習慣病の予防・改善、健康づくり」をテーマに意見交換が行われました。この懇談会は、市民の健康について市全体で検討することを目的に初めて開催されたものです。

懇談会では、はじめに医師会の小原壮一先生から本市の現状について報告があり、「脳卒中になったらできるだけ早く専門病院に搬送することが重要」といった医療現場からの声や、行政からの「治療中の方の薬の管理が大切」といった意見などが交わされ、今後の連携強化のために継続して開催することが確認されました。



## 節電のお願い みんなで地球の未来考えよう…「家庭でできる節電術」

東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の影響により、各地の原子力発電所で稼働停止の状態が続いています。現在、九州電力では電力確保に努めていますが、冬の電力不足が予想されています。特に、12月26日（月）～2月3日（金）の平日午前8時～午後9時については、さらに需給状

況が厳しくなるため、5%以上を目標に節電への協力をお願いしています。

節電により、発電にかかる二酸化炭素排出量を減らすことができれば、地球温暖化の防止にもつながります。一人ひとりができることから始めましょう。

ご家庭での取り組み事例と効果		節電効果(削減率)	
		通常、エアコンを使用するご家庭	通常、ガス・石油ストーブ等を使用するご家庭
エアコン	・重ね着などをして、室温20℃を心がけましょう。 ・窓には厚手のカーテンを掛けましょう。	7% ※設定温度を2℃下げた場合	—
照明	・不要な照明をできるだけ消しましょう。	4%	6%
テレビ	・画面の輝度を下げましょう。 ・必要なき以外は消しましょう。	2% ※標準省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	3%
冷蔵庫	・冷蔵庫の設定を「弱」に変えましょう。 ・扉を開ける時間をできるだけ減らしましょう。 ・食品をつめこまないようにしましょう。	1%	2%
ジャー炊飯器	・早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊きましょう。 ・保温機能は使用せず、よく冷ましてから冷蔵庫に保存しましょう。	1%	2%
温水洗浄便座(瞬間式)	・便座保温・温水の温度設定を下げましょう。 ・不使用時はふたを閉めましょう。	1%未満	1%
待機電力	・リモコンではなく、本体の主電源を切りましょう。 ・使わない機器はプラグを抜いておきましょう。	1%	2%

### その他の取り組み事例

- ・エアコンのフィルターを定期的(2週間に1回程度)に掃除しましょう。
- ・扇風機などで部屋の上部の暖気を循環させましょう。
- ・こたつは、上掛けなどを活用し、暖気を逃がさないようにしましょう。
- ・洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめ洗いをしましょう。

※節電効果の削減率の目安は、エアコンを使用する家庭の夕方ピーク時の消費電力(約1400W)、および、ガス・石油ストーブ等を使用する家庭の夕方ピーク時の消費電力(約1000W)に対する削減率の目安です。(資源エネルギー庁推計)  
※取り組み事例と削減率については、経済産業省ホームページ「冬の節電メニュー(ご家庭の皆様)」から抜粋しています。

### ◎注意してください!

- ・エアコン、電気カーペット、電気こたつなどの控え過ぎによる体調不良に気をつけて、無理のない範囲で節電に取り組みましょう。
- ・節電のため、ガスや石油を使用する場合は、窓を開けるなどして必ず換気をしてください。
- ・洗濯物や布団などは、ストーブの近くに置かないようにしましょう。

○問合せ  
市民生活課環境整備係  
TEL72-1111 内線327

## 表彰

## 統計調査に尽力した4名に表彰・感謝状

### ◎平成23年統計功績者表彰

平成23年統計功績者として、上迫正幸さん、宮原君香さん、本田多美代さんが総務大臣表彰を、遠山文子さんが経済産業省調査統計部長感謝状を受賞しました。

これは、長年にわたり、国勢調査をはじめとする国の調査に統計調査員または指導員として従事し、円滑かつ正確な調査に尽力してきたことが認められたものです。



【左から】  
上迫正幸さん(田布川町) 総務大臣表彰  
宮原君香さん(桜山東町) "  
本田多美代さん(妙見町) "  
遠山文子さん(栄本町) 経済産業省調査統計部長感謝状